日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONES: PROSPECT 0239-0238
ENTERED AT S. F. POST OFFICE AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.... SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENTS

日米 新關稅協約と 日支の親善

過般來懸案になつてゐた日支新關稅協約は愈々一昨日政府の閣議に於て無事通過し御批准を得て愈愈今一月から實施される段取となつた、元來この新關稅協約は日支交渉の挨拶ながらさる時に於ても別に切り放して交渉が進められつゝあつたものであつてこれによつて兩國の關稅協定が圓滿に解決を告げた譯である。この協約の成立によつて田中内閣と兎角ソリの合なかつた國民政府も事實上において承認された形となつたのであつて國民政府の方面に於ても日支關係を復旧せしめねばならぬ運命の下に置かれたものであつてこれ等の責任も又重大であるとは云はねばならぬ

日系市民 加州に五万

加州教育局調査によれば加州に在る四歳以上の日系市民は五萬人あると、第二世はだん〳〵と老衰し行き第二世の世界が回轉し來りつゝあるが其の第二世の多くは米國生れであつて生れながらに米國市民と同樣の權利義務をもつ所謂日本人系市民である云ふまでもなく之れ等の日系市民は今後米國に在つて我が大和民族の精華を挙げ日米親善の楔となつて働かねばならぬ運命の下に置かれたものであつてこれ等の責任も又重大であるとは云はれる

日會の將來 顧慮を要す

各地に散在する日本人會は今や總會を了へて新なる陣容のもとに活動を開始せんとしてゐる處で各地日會の總樣を見るに寂寞として昔日の俤が消え失せてしまつてゐるものが多い、有力日會の一つである桑港日會は會員二百二十名中出席者百五十人といふ少數である一萬人に近き在留同胞を抱擁する桑港としては實に微々たるものであつて之れが桑港在留同胞を果して代表するに足る機關であるか否やとの疑問を抱かしたくなる位である、殊に酷いのは總府であ勿れタタタ三十餘名、參事員の會員を有すると謂る數にも滿たぬ寂寞さ加減である、三千の會員を有すると謂る數にも滿たぬ寂寞さ加減である、總府日會の總會に出席者は僅く一般同胞は如何に日會の總會に冷淡であるかを知れる、それだのにも拘らず果角、日會當事者達が懸命力爭ひに浮身をやつして兒苦しき內訌を續けてゐるものが多い同胞中堅をなす人々は去つて寄りつかず、第二流・第三流所謂の野心の具に供せられんとする傾向がある、下らぬ野心や名譽心を捨て眞面目に日會の將來のため計畫するに非ずんば所詮日會は亡ぶるの外はないであらう

本社特約電通合同電報

滿鐵警備權問題重大化 責任者處罰に決するか

若槻田中兩將の貴族院での一騎打

（東京卅一日電通）今日の議會は貴族院では若槻禮次郎氏と田中首相の滿鐵問題についての一騎打的論戰あるはずで朝人氣盛んであるが衆議院では民政黨が機會を見て滿洲事件の警備責任者處分要求の緊急動議を提出する模樣である

責任の所在につきて 政府と陸軍の意見衝突

（東京卅一日電通）中野正剛氏に代つて山道襄一氏が滿洲事件により政府を追撃のはずであるが政府側は警備權放棄の如き事があつたとすればその責任は兵力用ひる當事者たる關東軍司令官にあり陸軍大臣は關せずと解し、陸軍側は支那側の惡望により憲兵配置を認容したまでのことで責めなど負ふ餘地はないと稱してゐる

新黨倶樂部も尻馬に乗る

（東京卅一日電通）新黨倶樂部も滿洲事件につき發生後既に半ケ年以上經過してゐる今日御調査中といふこと自身が政府の無責任の證據であるとの强硬意見を持出すものあり、本事件につきては策戰上民政黨を後援するものと見られる

國民政府を速かに承認し 治外法權を放棄せよ

龜井社民代議士若い處を發揮す

（東京卅一日電通）昨日の衆議院豫算總會において社民黨の龜井貫一郎代議士は吾々は決して直に滿蒙の權益を放棄せよとか國民政府の云ふことは何じもかも承認せよといふのではないが今日の支那における國民運動は歴史的發展の一段階にあるものであつて國民政府はこれを承認せざるを得ないのであるがこれに關連して政府は領事裁判權を廢棄する意志はないかと質問したに對し植原外務參與官は領事裁判權の問題は關稅會議において問題となり吾が國においても一日も速に廢棄の機會の到來を望んでゐるのであるがこれは條約改正の問題にもかんでゐるからいま直に解決は出來ぬと思ふと答辯したが引續午後の總會において龜井代議士は滿洲の某重大事件につき田中首相につめよつたが首相は例によつて調査中の故をもつて具體的答辯を與へなかつた

金輸解禁は 斷念したのでない

爲替相場が安定したら斷行 三土藏相答辯

（東京卅一日電通）本日の衆議院の稅制整理委員會で金輸解禁問題での質問に對する三土藏相の答辯が綜合すると大要左の如くであつた「政府は決して金解禁の方針を斷念したわけではないが國際貸借の改善をはかり爲替相場のいま少しく回復するを待つて行ひたいと考へてゐる自分い見る處では日本の對外爲替相場は國際貸借の實勢を反映してをらずそれ以下にある、これはわが國の資金が偏在してゐるためで、やゝもすればこの偏在資金が海外に流出しようとする虞れがあるまた支那問題も頗々として今後は以上の問題を適當に始末しさへすれば爲替が平價まで復はしなくとも相當の回復は早得るものと考へるその時に至つて始めて金解禁をなすべきであると思ふ」

六大都市で 特別市制案 突如再提出

（東京三十一日電通）六大都市關係議員四十餘名は五十二條の特別市制案を突如本日衆議院に再提出したが一氣に通過を目論んでゐるといふ

爲替動かず

（横濱卅一日電通）正金銀行の爲替建値は本日かはらず

郵便貯金も 利下げか

銀行の方が 利子が低い

（東京卅一日電通）銀行預金利子引下げによる定期預金甲乙種とも資本利子稅等の關係から郵便貯金の四分八厘より利廻り悪く銀行は銀行預金壓迫を懸念して郵便貯金の利下げを考慮しつゝある模樣である

廿五才以下 禁酒法案

今年も出る

（東京卅一日電通）廿五歳以下禁酒法案審議院に百九十六名の賛成代議士を得て提出されたことになつたが禁酒期成同盟は嚴重訪問班を組織して通過運動を開始した

一月貿易 入超續く

（東京卅一日電通）大藏省發表一月下旬の主要十三港における外貿易は輸出、七四、四一五、〇〇〇ブラジル行きである。その九割は輸入、九二、三五三、〇〇〇差引入超一七、九三八、〇〇〇で一月中の累計を示せば輸出一七九、三〇四、〇〇〇輸入二三〇、八四九、〇〇〇差引入超五一、五五五、〇〇〇である

日本大衆黨 內部動搖

（東京卅一日電通）日本大衆黨平野力三、麻生久派一派は政府の壓迫に堪ずとして常任委員會で大騒動を起した

救濟は相見互ひのこと 台銀の厄介は帳消し濟み

久原遞相豫算總會で苦しい答辯

（東京卅一日電通）三十日の衆議院豫算總會において岡崎久次郎氏は久原遞相個人が保證して震災手形の有無をたづね泥棒に近い行爲をしてゐる人間だと口を滑らしたところ憲政會にしろ政友會側が騒ぎ出し一騒動あつたのち、久原遞相は自己の名譽のため訂正し一應の謝罪をうけた際には八千萬圓私財を投出し海外の信用維持を全ふした、臺灣銀行苦境の際も住吉の自宅を擔保に入れてこれを救つた、これに對して私は自身は錢一厘も受取つてはゐぬ、臺灣銀行は日銀から特別融通を受けるに際して持込んだであらうが、これは前後の都合によるもので私には關係ないものである、陳謝これつとめた

阿片問題には無關係

久原の社員が個人でしたこと

これについて杉浦武雄氏が久原商事社員大村某は阿片密輸入計畫中を曝露したが右事件と久原遞相との關係につきたゞし一般の信ずる處ではこの事件の背後にあるのは久原遞相自身しかならずとなるが、かゝる人物を大臣として我が田中內閣に居らかつめより、久原遞相は右大村某の事件とは絶對無關係であることを言明し田中總理も相手にせずつゝばねた

日米關係

第二世の地位 ……世界で一番排他的な日本の立法を省みよ……

加州移民問題委員會幹事 マクラッチ

△これに反して日本はルーズヴェルトが上述の原則を實踏するやつと以前に、この種の危險を持つてゐるのである。日本は人種を一にし、實際上宗教を一にし、遺傳を共にしそして最も統一的な國民的概觀を持つてゐるのである。その結果として、僅々五十年の短日月に、日本國民が成就することを得たのである。そして外人に對して排他的使用人に對して排他的使用人に對して排他的使用

ブース大將は總司令官に復す

最高委員會の決定は根本から覆された

（ロンドン三十日）英國最高委員會は法廷でブース大將一派の禁止命令要求を容れたので、同大將は再び救世軍總司令官の職に復位したからとて、最高委員會は再び救世軍總司令官問題に對しては何等の權利を有しない譚である。

最高委員會の一委員會が發表した譚によれば、ブース大將派の法律顧問が、會議の席上で充分反對論を吐くことを許されなかったからである。然しブース大將がブース大將の復位したからとて、最高委員會の決定は根本から覆されたのであるから、明朝同本部で最高委員會議を再召集し、再び最高委員會議の決定事項は根本から覆されたのである。法廷が禁止命令を許容した譚は、法的手續を以て統一されたと云ふ譚である。隨つて最高委員會は、ブース大將派の法律顧問が、會議の席上で充分反對論を吐くことを許されなかったからである。然しブース大將がしてゐる。

改造派は分裂か

法的手續きを

最高委員會の一委員會が發表した譚によれば、同一軍內の改造分子の地位は法的手續を以て統一されたと云ふ譚である。隨つて最高委員會は、同一軍內の改造分子の地位は法的手續を以て統一されたと云ふ譚である。隨つて最高委員會としては

兩陛下に照宮樣 久邇宮邸に行幸啓

親しく故宮に御告別

（東京発一日電通）本朝十時五十分兩陛下におかせられては御供服召されて遊谷なる久邇宮邸に行幸啓親しく故元帥宮靈前に御榊大妃殿下に御榊を捧げ給はり御焼香の御言葉を給はり一時半宮城還幸の際になりたが午後三時には照宮邸へあいなり親しく御禮拜になつた

皇后宮下賜金

救療所へ金一萬圓

（東京発一日電通）皇后陛下には聯合救療所に金一萬圓御下賜になつた

公文交換未濟でも 新關稅率は實施

御裁可完了直ちに北京へ打電

發表されるのは新稅率表だけ

（東京発一日電通）支那輸入稅率に關する公文交換未濟なるも稅率表は一日閣議に於て御裁可を経て直に北京公使館に電命して公文交換手續をなさせ、その內容は前例により發表されず稅率表だけが告示されるはずである

豫算總會 峠を越す

政府側觀測

（東京発一日電通）政府側は豫算總會はすでに峠を越したものと見て國稅委讓通過に主力を向ける策戰である

東京の 强盜時代

（東京三十一日電通）本朝本郷區根津町前田時計店に二人組の强盜忍び入り三十圓を强奪逃走したが、同店では直に相生警察に屆出たにかゝわらず、警察に屆け出たにかゝわらず、警察より緊急電話を掛始した

海外より流れ込む 黃金の海濤

廣島縣昨年一年に送金の筆頭は在留邦人

八百十万餘圓の送金額

廣島縣稅務監督局では同管內の廣島縣、鳥取縣、島根縣、岡山、岡山、鳥取、島根縣の管轄について昨年十月から昨年の九月末まで一ケ年間海外渡航者より郷土に送金された額ならびに持參金について調査を開始した結果大縣は送金額の重なる所は北米が第一、ついで、ハワイ、南米、カナダ、ついふおきろくべき統計を見る南洋といふ順序になつてゐるにいたつた、しかしこれを縣別になると左のごとき內譯になる

廣島縣	八一〇一五二二圓
山口縣	二二三五五四九
岡山縣	一九九〇七〇六
鳥取縣	二六六八九一
島根縣	九二一九二
愛媛縣	三五二七八七
計	一三〇二九六四八圓

この表によると廣島縣は最も多く送金ならびに持參金を有し一ケ年間に八百十萬餘の富が海外よりころび込んだ譯である送金額の重なる所は北米が第一、ハワイ、南米、カナダ、ついふおきろくべき統計を見る南洋といふ順序になつてゐるにいたつた、しかしこれを縣別になると左のごとき內譯になる

廣島縣	八一〇一五二二圓
山口縣	二二三五五四九
岡山縣	一九九〇七〇六
鳥取縣	二六六八九一

松坂屋新館失火

損害十五萬圓

（東京三十一日電通）上野廣小路松坂屋は目下新館建造中であるが本日失火してその一部を焼失した

（東京発一日電通）松坂屋の火災によつて工夫三名重傷し損害は十五萬圓工夫の名は目下調査中

（東京発一日電通）高松宮は昨夜一時より戰跡榛名にお乘組になつて工夫三名重傷し損害は十五萬圓工夫の名は目下調査中

高松宮 榛名に乘組

（東京発一日電通）高松宮は昨夜一時より戰跡榛名にお乘組と決定した

支那の國花は 梅の花

（北平発一日電通）支那國民政府は國花を梅の花と決定した

內外綿糸工 罷業開始

支那人一千名

（上海発一日電通）內外綿絲會社紡廠用支那人職工二千名は本日より罷業を開始した

大阪商船 副社長新任

村田省造氏

（大阪三十一日電通）大阪商船會社副社長には村田省造氏が新任された

新汽船建造

（東京発一日電通）政府は尚ほ二千噸級のディーゼル船二隻建造のことに決定した

市內取締で 夜警案

署長が提案

桑港警察署長クイン氏は夜間交通を取締り犯罪を防止し且事故の起つた場合には急遽これを助けるために夜警制度を提案してゐたが、昨日の交通法廻石屋會ではクイン氏の提案を承認し、クイン氏は郡參事員會の承認を求むる意向だと發表したが夜警が設置されるとなれば八十四名が配せられるはずだと

一部野心家から 桑日會に內訂

幹部乘取の隱謀暴露

桑港日本人會では過日の總會に同參事員に対して幹部乘取の謀りその前提として一部の參事員廿五名を選擧し更に乘取策をみ謀りその前提として一部の

食味大觀 (26)

春舟郎

世界料理講話 (十一)

西洋人が日本へ来て何より先づ驚嘆するのは牛肉のスキ焼である。我々日本人から見ると料理の中には篠々勧定も出来ぬスキ焼を大喊ぎする西洋人を可笑しいと思ふが、眼にうまい、といふだけならスキ焼はうまい相違なく我輩にしてもしかと食ふ物の癖好つかなくなると『ねゝ、スキ焼にでもするか』と輝躍しながらそのスキ焼をやはりおいしくたべる。

▲

スキ焼の起源は極めて新しい。拵らす一種の神秘だ。聖古料理から来たのであらうといふ臆說もある。野外で鍋に鹿角の載が牛肉量の元祖だとはおかしい說であるが夫は萬資らしい。

▲

然し當時牛肉を公然と買ひに来るものはなかつた。たまに来ても誰一人相手にしない。地所を貸ぐ古い牛肉屋だといふ。

▲

牛のスキ焼には秘訣も何もない。要するに醤油の味がおいしいだけのことである。

▲

日本開國の殊勲者である井伊掃部頭直弼が牛肉を好んで喰つたといふ說があるが、江州はどうも牛肉とは深い緣あるらしくしたのは牛肉を手に入れることの困難であつた。ある者はその爲め牛肉屋を開き『御養牛牛肉』と赤く記した旗を立てた。牛肉屋の看板に赤字を用ふるはこれに始まる。この中川は後神田の淡路町にうつり現存してゐる。

▲

士橋の黄川田といふのも古い牛肉屋だつた。世界大戰の始めころまであつたことを記憶する者が今はなくなつた。四谷の三河屋、京橋の河合などもこれに次ぐ古い牛肉屋だといふ。

▲

安政の頃近江の高宮で屠殺した牛の肉を味噌漬にして江戸に送つて彦根藩邸で賣り下げを試みたといふ記錄がある。

▲

又無馬藩邸でも牛肉を賣り出したといふ。大名の屋敷が牛肉屋の元祖だとはおかしいが夫は萬資らしい。

▲

使館日用品の御用商人があつたが、是非とも江戸に屠牛場を新設せんと種々奔走したけれども興へて始めて屠牛場が出來たが、堀越は後に二代目中川嘉兵衛として在原郡白金村の鄕土場鹽釜に設して牛肉を手に入れることの困難であつた。

▲

當時中川嘉兵衛といふ外國公使館の御用商人があつたが、是非とも江戸に屠牛場を新設せんと種々奔走したけれども興へて始めて屠牛場が出來たが、堀越は後に二代目中川嘉兵衛として在原郡白金村の鄕土場鹽釜に設して牛肉を手に入れることの困難であつた。

▲

沿岸諸州の富源 (二)

自然に恵まる

米國のスティンバーベルトはシエラ、カスカデス及び沿岸山脈に横はつてをり、海洋の霧を多く受くる關係上部はレッドウッドの森林で掩はれ、加州のシエラ山脈の西麓はシュガー及びヤロー・パインの森でカヴァードされパインの森林は遠くカスカデスの麓に延び北部オレゴンに續いてゐる。スプルス、シ

ダ山脈の西麓はレッドウッドの森林で掩はれ、加州のシエラ山脈の西麓はシュガー及びヤロー・パインの森でカヴァードされパインの森林は遠くカスカデスの麓に延び北部オレゴンに續いてゐる。スプルス、シ

樹林又は山林保護のもとに置かれ手をつけられない所である。三州のラムバーミルに使用される人間は二十萬人で伐採する材木は年々四億弗に上る農産業において其の種類の多きこと、その量の多きことは恐らく世界に比を見ないであらうと特に加州の日光と沃土と灌漑は平原の氣候を緩和し果物野菜の生産は最はおどろくべき程に恵まれ日光少く濕氣多き北方オレゴン、ワシントンの平原はアップルの名産地として知られ、なほチエリー、プルーンその他野菜の大量を産す、全米一人當り三個のアップルを喰はゝ、そのアップルは宜にこの三州において生ぜられ、うちワシントンをもつてその最たるものとする

▲ 野菜類

セロリー

わづかの出荷ありしがクレート一弗五十仙より上物二弗二十五仙にて賣れゆく

ストロベリー

市況はなほ振るはずドライパック、クレート七十五仙より極上といへども一弗二十五仙を出でず、帝原氷詰四五打入り二弗二十五仙

レタス

オレゴン二、アイダホより一貨車外に地方より八トラックの入荷あり取引まづ豊通で段落据わりスタクトン、サフク一弗より一弗二十五仙、ワシントン一弗二十五仙より一仙三十五仙、オレ

桑港市場

一月廿一日

果物相場

標準卸値

	單位	仙
アップル	箱	
ニュタオン四チャ		六五
三半		一五〇
ロムビユテー小中		二五五
スビゼンバーグ		二五五
バナナ 布哇 封度		四〇
同 四半		五五
グレプフルツ帝原	箱	四〇〇
ツラレ	箱	四〇〇
レモン	箱	五五〇
オレンヂ ネベル	箱	六〇〇
同 小	箱	三五〇
ネリス	箱	三五〇
柿		一〇〇

野菜相場

アーチチョク	箱	二五〇
ポンチ物 ビーツ	打	四〇
キャロツト	打	四〇
トアニツプ	打	四〇
ラデシユ	打	四〇
青葱	打	二五
ビンズ		四〇
ケンタツキー	斤	三〇
カリフラワー	百斤	二〇〇
キャベーヂ	百斤	二〇〇
茄子 墨國	斤	八〇
南加	斤	三〇
ガーリツク	斤	一〇

蒼白き薔薇 (6)

中村武羅夫作

八重子は、憧憬的な眼をして百合子が、超然とした態度で小さな八重子だけが俗語の相手にして、袖の長い薄物の着物が風がまるで、なんかなおびたゝしいだ、つまらない！」といふやうつまじさうに話をしてゐるのを見ると「なんに、急に難誌を見たり、窓外の景色に目をやつたり、自分々々の話にふけつたりするやうになつた。汽車が、大磯に着けば、それで輕く會釋をして、若と云ひ、とに別れてしまふだらう。果して海岸で會へるか、どうかも分らない。偶然、同じ列車に乘り合せて、座席を讓つてもらつたりするのを見ると、はかなくもかくれるわけにはゆかなかつた。

美しきなり (五)

彼等の上に、いつまでも注意してゐるわけには行かなかつた。

彼の女は、はじめの内は、ひと目で、百合子のわき腹のところを、烈しく突いておいて、出口に躍けていつた。

見ると出口のさんのところに白せきな青年と、頭をシング、ヘッドの青年が、ぶつかりあつてゐるのを見ると、ステーションに降りたゞけで、さわやかな風が頬をなで、ステーション前の岩崎別荘の大きな石がけや亭々としてそびえた黒い松の木が見わらかの都會の暑さにたゞ切つた身體をよみがへさせてくれるやうな思ひがした。

「お姉さま、緋佐子さんよ。あら！宮原さんも！」

ならんでゐた八重子が、裸のひ・ひで、百合子のわき腹のところを、烈しく突いておいて、出口に躍けていつた。

「お姉さま、緋佐子さんよ。あら！宮原さんも！」

ならんでゐた八重子が、裸のひ・ひで、百合子のわき腹のとこ

「ねゝ——」

百合子は浮ついた空で返事をした。彼の女は、はじめの内は、ひと目で、百合子のわき腹のところを、烈しく突いておいて、出口に躍けていつた。

「ねゝ——」

百合子は浮ついた空で返事をした。彼の女は、はじめの内は、ひと目で、百合子のわき腹のところを、烈しく突いておいて、出口に躍けていつた。

「お姉さまも？」とつて飛んでいく百合子の耳を打つたが、早くも百合子は、清みません。」

「ほんとに、清みません。」

百合子は、何度も恐縮せずにはゐられなかつた。

三人は、自轉、肩を並べるやうにして陸橋を渡り、海岸の方へ降りたゞけで、さわやかな風が頬をなで、ステーション前の岩崎別荘の大きな石がけや亭々としてそびえた黒い松の木が見わらかの都會の暑さにたゞ切つた身體をよみがへさせてくれるやうな思ひがした。

「お姉さま、緋佐子さんよ。あら！宮原さんも！」

ならんでゐた八重子が、裸のひ・ひで、百合子のわき腹のとこ

「お荷物、持ちませうか」

「いゝわ赤帽に頼んでもらうから」

「では、窓から出してあげませ

「ほんとに、有難うございました。」と百合子も腰を立つて、丁寧に禮をのべた。

「お荷物、持ちませうか」

「いゝわ赤帽に頼んでもらうから」

「では、窓から出してあげませ

青年紳士は、百合子たちが、無理に二人を先に退さるのを、自分が赤帽を呼んで、窓から荷物を渡してくれた。

「ほんとに、清みません。」

百合子は、何度も恐縮せずにはゐられなかつた。

三人は、自轉、肩を並べるやうにして陸橋を渡り、海岸の方へ降りたゞけで、さわやかな風が頬をなで、ステーション前の岩崎別荘の大きな石がけや亭々としてそびえた黒い松の木が見わらかの都會の暑さにたゞ切つた身體をよみがへさせてくれるやうな思ひがした。

「お姉さま、緋佐子さんよ。あら！宮原さんも！」

ならんでゐた八重子が、裸のひ・ひで、百合子のわき腹のとこ

「お姉さまも？」とつて飛んでいく百合子の耳を打つたが、早くも百合子は、清みません。」

南加版

支社電話（MUTUAL）八四一五

近々市令となるべき 店員健康診斷令

同胞商家にも一々調査 店主は店員に注意せよ

[illegible]

富尾コート開き

[illegible]

藤原アキ子さんは伊太利に殘して

一月中旬獨唱會

義江君最近渡米して 近く親しい南加を訪問

[illegible]

長濱金融組合 定期總會

[illegible]

西本願寺布教部 出張日程

[illegible]

千葉縣人會 新株募集

[illegible]

福島海外協會 役員

[illegible]

サンデーゴ 日會

[illegible]

見逃す勿れ 御大典映畫

[illegible]

長濱演藝倶樂部 總會

[illegible]

田中氏の死去

[illegible]

怪奇探偵譚 『娘煙術師』

國枝史郎作

（百〇一）

女煙術師の嘆

『いづれはあなたの許婚のゆゐおとこ、お嬢様にご身分上品でお人柄でお嬢様にご身分もよろしうございませうが、わたしにはそのやうなよも、こわくも恐ろしくもございませんかう思ふのでございますよ。さういふお上品なお嬢様ならば、邦でわたしにはよい幸だと！苦勞なきなすつてはなりますまい。ねんねね機でございませう。箱入人形でございませう。……わたしに反舞でございます。上品でもなければ人柄でもなく、箱入り人形でもありませんねば、ねんねね様でもありません。苦勞をした人間でございます。スッ[illegible]でございます。浮世のあかをなめてをります……ねんねねのあなたのお許婚なぎを、いちめておさへて付て追だすこ[illegible]ぐらひは朝飯前の仕事でございます。[illegible]

[illegible]

新株募集

[illegible]

日米支社

[illegible]

種子

[illegible]

特撰種子物 レタス、アニオン、スピニチ、ピーキャロット、ピーツ セロリ

[illegible]

説明附特價表 卸、小賣

[illegible]

日本總領事館 廣告

[illegible]

尋人

[illegible]

今週特別映畫

[illegible]

御大典紀念特製大映畫 擧國一致

[illegible]

見よ憂國の意氣!!!

[illegible]

富士活動常設館

[illegible]

甲山エキスプレス

[illegible]

保險

[illegible]

近世科學の一大驚異 偉大なる人類への貢獻

[illegible]

有働貞三

[illegible]

日米新聞

[illegible]

肥後屋ホテル

[illegible]

第一街グラージ

[illegible]

確實迅速 中筋順

[illegible]

勸工場

[illegible]

太平洋印刷所

[illegible]

藤井事務所

[illegible]

ホテル・バレー

[illegible]

大久保齒科醫院

[illegible]

小谷保險事務所

[illegible]

かまぼこ

[illegible]

健康第一

[illegible]

天賞堂

[illegible]

新着荷

[illegible]

フレスノ（州）

△各地總會記事通信幅輻につき掲載順遲延あり讀者の諒承を願ひます

ハンフォード

▲父母の會總會 廿七日午後三時ハンフォード學園父母の會定期總會開催出席者十三名 淺木森教師書記におされ能田幹事議長に小田隅田諸氏をおし事務報告を承認 左の決議事項あり

一 利益の中より百弗を積立金とすること

一 その他の利益は乙種株券をもつて配當にあつ

一 規約第三條を「本會は何縣の有志たる間は中央會の趣旨に賛成し一株以上の株を所有するものを以て組織す」と修正

一 萬一の場合の銀行預金受取人を專務理事以外より幹部間の申あはせにて人選しておくこと

新役員には左の諸氏當選 專務理事 白川時夫△理事 二宮音松 陽田憲一 米原太一 小田貞彦

なほ評議員はおつて新理事會で推薦することになりたゞちに新年懇親會をうつの準備委員長 河野德一氏の挨拶 米原氏のストマスターで小田 隅田 中谷 木村 白川蓮花諸氏の卓上餘あり中川その他夫人連の丹精にて料理されて珍味を快喫しつつ各種のかくし藝百出しおのしく十二時頃散會したる。ちなみに同組合の收支は一萬二千六百廿三弗六十六仙を計上しもつとも堅實に發展しつゝあるよし

サンガー便り

▲佛教青年會總會 廿五日午後七時催出席者十一人 近藤君開會の辭をのべ事務は田村君より報告（承認）後重要協議あり計報告（承認）後重要協議あり任を自覺し滿場一致本會利益のことの如何に大なるかの重大責ついで本年度幹部を左の通推薦 ために服從し協力一致の精神をもつて會の發展をはかるべく決議し左の諸氏新幹部に選定された

會長 山下耕一 副會長 泰豐一 幹事 鹿田直 會計 橋業義 庶務部長 阿部デヨ 圖書係り 奥田正義 阿部リオ 修養部長 堀川義隆 巡動部長 淺田清

民安昇一郎 葬儀收支

中加廣島縣人會主催執行の同上收支決算左の如し

收入六十八弗五十仙（九十一名より義捐の香典）二十弗故人所持谷計八十八弗五十仙 支出五十弗新義社十弗驚用代引 當日の執行費十八弗五十仙 救世軍慰問謝禮十八弗 合計八十八弗五十仙

●寄附 サンガー片岡某氏數名

僞造手形行使

オークランド

同胞の注意肝要

▲△……東灘……△ 錄餘△……序で當然のことながら……△ 蛮闘努力しわが民族發展のもといとなり移民史の一ページをいろどるべき人たちが不師の人となりし新聞の黒落の感をふかくし同時敬悼の意を表する次第なり。わが王木村氏は今日かぎり中加廣島縣人會の成立若をふたゝび地上で見ることは出來ない。

故中重榮太郎氏は鹿兒島縣の出身でなく王府に在住し東郷洗濯所を經營し公共團體の役員として同胞のためつくした元老の一人である近年健康をがいしゐるため各種團體の役員たるを避け自己が趣味とする育英のため遺業一諸氏の學務委員長をつとめ同氏の出席者はあまり多くなかつたが木村會長代理副長席に着しの成績は一般に感謝の辭を述べ故人の功勞に對し衷心より感謝の意を表す」なる感謝文朗讀あり議長より出席者の熱心なる協力のうへ各學園に會費の徴收を分配することを得」（同盟努力しわが民族發展の垣を提案）となり採決の結果可決

規約修正の件 參事員十五人を十九人となし内四人は推せん參事員とすること（可決）

かくて定期總會も無事終りをつげて閉會せんとするにあたり渡邊繁一氏より「本總會は幹部ならびに評議員諸氏のつくされたる功勞に對し衷心より感謝の意を表す」なる感謝文朗讀あり議長より出席者の熱心なる協力のうへ各學園に會費の徴收を分配することを得」（同盟努力しわが民族發展の垣を提案）となり採決の結果可決

規約修正の件 參事員十五人を十九人となし内四人は推せん參事員とすること（可決）

昨廿七日午後四時より日本人會ホールにおいて日本人會の定期總會が開催されたる例年の如く木村會長代理副長席に着しの成績は一般に感謝の辭を述べ故人の功勞に對し衷心より感謝の意を表す」なる感謝文朗讀あり議長より出席者の熱心なる協力のうへ各學園に會費の徴收を分配することを得」（同盟努力しわが民族發展の垣を提案）となり採決の結果可決

規約修正の件 參事員十五人を十九人となし内四人は推せん參事員とすること（可決）

かくて定期總會も無事終りをつげて閉會せんとするにあたり渡邊繁一氏より「本總會は幹部ならびに評議員諸氏のつくされたる功勞に對し衷心より感謝の意を表す」なる感謝文朗讀あり議長より出席者の熱心なる協力のうへ各學園に會費の徴收を分配することを得」（同盟努力しわが民族發展の垣を提案）となり採決の結果可決

更生會

約一週間ばかりは霧雨地方はくもりてはふり好天氣とてなく不順のため農家七は きまりたる仕事に手をつける能はず一日も早く天候順調ならず春仕事に とりかゝりたしとは農家一般の聲である

氣候と農業

芝居興行

各地で好評の播磨屋團十郎一座は來三月米興行會社がうけ元 なり來月五六兩夜佛教ホールにおいて嘆々しく開演のよし

一 奉期雄辯大會を催すこと

一 三月三日基金募集演藝會開催 三圓書部をホール内にうつすこと

四 撃劍柔道兩道を稽古すること

△△老……者が先亡するは順序で當然のことながらで……△△ あらうが各地において……△△ 蛮闘努力しわが民族發展のもといとなり移民史の一ページをいろどるべき人たちが不師の人となりし新聞の黒落の感をふかくし同時敬悼の意を表する次第なり。わが王木村氏は今日かぎり中重榮太郎氏元老をふたゝび地上で見ることは出來ない。

故中重榮太郎氏は鹿兒島縣の出身でなく王府に在住し東郷洗濯所を經營し公共團體の役員として同胞のためつくした元老の一人である近年健康をがいしゐるため各種團體の役員たるを避け自己が趣味とする育英のため遺業一諸氏の學務委員長をつとめ同氏の出席者はあまり多くなかつたが木村會長代理副長席に着しの成績は一般に感謝の辭を述べ故人の功勞に對し衷心より感謝の意を表す」なる感謝文朗讀あり議長より出席者の熱心なる協力のうへ各學園に會費の徴收を分配することを得」（同盟努力しわが民族發展の垣を提案）となり採決の結果可決

規約修正の件 參事員十五人を十九人となし内四人は推せん參事員とすること（可決）

かくて定期總會も無事終りをつげて閉會せんとするにあたり渡邊繁一氏より「本總會は幹部ならびに評議員諸氏のつくされたる功勞に對し衷心より感謝の意を表す」なる感謝文朗讀あり議長より出席者の熱心なる協力のうへ各學園に會費の徴收を分配することを得」（同盟努力しわが民族發展の垣を提案）となり採決の結果可決

同胞元老逝く

出張法話

日會定期總會

サンノゼ（廿九日）

講演

スミス博士

マウンテンビューにて來たる二月二日（土）夕七時より スミス博士の日本語講演があるこの故地方有志者多數出席をのぞむ

古庄氏開業

古庄市兵衛氏は今度別項廣告のごとく病氣院中の處治癒し今朝入時二十五分途に死去致候間此段生前厚知諸事御追て葬儀は來る二月二日（土）午後一時王府佛教會に於て執行可仕候 一月廿十日 王府 妻 ムメ 長男 實 同 第 中重榮 同 實 同 フデ 妻 熊市 入來 義兄 叶太郎 親族 伊太郎 同 持富 嘉藤 上野繪次郎 代表 岡田鶴三郎 鹿兒島縣人會 灣東學校 灣東洗濯所組合 王府佛教會 王府日本人會

死亡廣告

牧師招聘

コーテイズ【廿七日】

總會期日變更廣告

讓受廣告

苺苗

類パンナー

日本人會

日會定期總會

日本人會

日本人會

日本人

サクラメント（廿一日）

新らしく昭和の日本村出來さふ

重にオークパークの同胞農業家が土地購入移住す

當地メーユーとジャクソン鐵路とのあひだでシヤーマン濱路の附近にあたらしく昭和の日本村が出來さふな勢ひである、そこは櫻府から東十マイルの地點にあたり、主にオークパークの同胞農業家が土地を購入移轉しつゝあるやうだ、數年前川村太平氏が四十エーカを町田平内氏が廿五エーカの土地を購入して、そこに居を卜し、小川氏の二十エーカ、出口氏の四十五エーカを除外に移住者の數を增しつゝあり、今度岩佐久太郎氏も五十エーカを購入したそうで、吉永氏もまた近々二十エーカを購ふとの噂もありてそのうち、今後櫻府每の生産中心點はこゝであらふとまで云はれてをり同時に同胞農業家が永住の決心もこの現象が雄辯に說明してゐると云はれる

櫻府實業會定期總會

種々重要事項を協議

櫻府實業會では昨一月廿日午後八時より櫻府日會事務所にて定期總會を開催したるが出席者十八名で、昨年度事務會計報告を承認し左の事項を決議した

一、昭和四年度の休日を指定しおく件

（イ）七月四日全休のこと

（ロ）その他從來休業し來りし祭日は全部半休のこと

一、櫻府市および附近青年角力大會に優勝旗を贈る件

一、市外より寄附金申込みに關する件

みぎは實業會理事會にて協議の上で應募すること

一、信用表作製の件

一、實業會の集會は今後時間を卜り行すること

右をはつて理事七名を左のごとく選擧す

▲理事長　西村萬藏　▲會計　岡田治郎　▲書記　青木有儀市　大町正男　▲富田憲治　高井誠吾　廣澤楠太郎

櫻學園の卒業及修業式

來る二日午後一時より

櫻學園第廿二回卒業式ならびに修業式を來る二月二日午後一時より同講堂にて擧行し、をはつて各級生徒の學藝會を開催すと

▲第一式　司會者　和才教師　開會の辭　▲米國々歌　一同　▲學事報告　澤井敎師　▲皆勤　精勤者報告　合攝當試　▲證書授與　清水園長　▲訓辭　清水園長　▲祝辭　父兄　井岸改造　學務委員

櫻佛日校の演藝會延期

櫻府佛敎會日曜學校の基金募集

久遠元師御誕生當日で櫻府佛敎會日曜學校の基金募集を目的とする演藝會はさる三日の夜、エルク街ボクシング、ホールに擧行の豫定なりしが、當日は久遠元師宮の御誕生日なるをもつて遠慮して哀悼の意を表するため來る十日に延期したりと

●伊藤師河下ゆき　出雲大社神社授布攝富の伊藤好久師はちかく河下地方を巡廻するよし

●佛敎座談會　きたる二月二日の土曜午後五時よりデルベツの（ジョンマーキ）の末川氏宅にて開催す

春季庭球試合

櫻府日本テニス倶樂部では本年度の總會をかねて來る二月九日午後一時より市內三福亭において開催す

●寄附　市內朝日時計店主井岸改造氏より愛甥正君櫻學園卒業記念として五弗を同學園に寄附あるよし

●寄附　過日來山中郵組合より金十弗　川口忠一氏　▲五弗　石野夫人　▲鉛筆けづり二個　西山春先生

スタクトン（三十日）

電話一四四二

全國及加州內の苺作付面積

昨年より一萬英加縮少

福岡海協懇親會

須市河下タミナスおよびボーデン島の一部を指容したる征蟹同盟農家の子弟を收攬し報語を敎授するの希望無し且體的方法の質現を見ていよ〜來る四日は六千エーカであつたが本年はこれ等一萬エーカの苺畑に達し、加州授の場所は臨時にタミナス公立青木チームは第一軍、二軍とも敎師の同人、日本人會の評議員吟社の同人、日本人會の評議員榎本辰太郎氏（六十二才）は一週間まへ心臟麻痺にかかり、これが二日のうちに急性肺炎に變じ　さる二十七日午前五時十五分ワツソンビル病院において愛妻および二男二女のこして死去されたがまことにお氣の毒のいたりなり

榎本氏死去す

ワツソンビル（廿八日）

佛青二軍共敗る

須市內榎本商店主にてバハロ流吟社の同人、日本人會の評議員榎本辰太郎氏（六十二才）は一週間まへ心臟麻痺にかかり、これが二日のうちに急性肺炎に變じ　さる二十七日午前五時十五分ワツソンビル病院において愛妻および二男二女をのこして死去されたがまことにお氣の毒のいたりなり

●宮田商店にぎはふ　大賣だし中の宮田商店は月曜日より大多忙をきはめ賣れゆき非常に良好であるよし

●瀨戸氏雜誌と事務所　廿九日、氏の雜誌はきたる二月二日の土曜午後一時須市佛敎會にて執行すべしと、たほ當雜誌の假り事務所は鶴見內におくべしと

●二月號着　錦帶堂に故國婦人雜誌の二月號がたくさん到着したりと

●寄附　過日來山中郵組合より金十弗　川口忠一氏　▲五弗　石野夫人　▲鉛筆けづり二個　西山春先生

佛敎少年會組織さる

櫻本辰太郎氏指導のもとに去來佛敎團の中堅になる人物を養成する目的にて佛敎少年會を組織し櫻本辰太郎氏を會長に推薦し、大車輪の大活動をなしたる結果、他地方に優れたる好成績をあげたるが、本夜會事務所に幹部會を開き、先生は藤本東一氏を顧問

A Newspaper For All Peoples Interested in the Welfare of Japan and The Japanese People

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

The Largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

NUMBER 10508 — Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter. — SAN FRANCISCO, CALIF., FRIDAY, FEBRUARY 1, 1929.

Copyright 1928 By The Japanese American News

Per Year $11.00
Per Month $ 1.00

VETERAN S. F. TRADE MAN'S LIFE LAUDED

Lynch Was Pastor Before Taking up Commerce

(The following is the second of a series of life sketches of the outstanding figures in the professional and business world whose careers are a source of inspiration to all ambitious young people. These articles are printed here through the courtesy of the S. F. Bulletin.)

— The Editor

Meet the man who directs the huge organization that strives to make San Francisco a bigger and better place to live in—as well as the gateway of commerce on the Pacific Coast.

He is Robert Newton Lynch, vice president and general manager of the San Francisco Chamber of Commerce — a post which he has held since 1912. Lynch is the dean of Chamber of Commerce heads on the Pacific Coast and there are only one or two in the country that outrank him in the point of service in the United States.

Lynch became interested in civic promotion work in a most unusual manner. He was born at Sharon Pa., and in early youth came to California in 1881.

WORKED FOR JOHNSON

He worked for several years for Grove L. Johnson, a lawyer, and the father of the United States Senator Hiram W. Johnson. The law work did not particularly appeal to Lynch so from 1896 to 1903 he attended the University of London, where he specialized in semitic languages.

Returning to California in 1903, he assumed the direction of a church in Petaluma. In addition to his church work, he became secretary of the Petaluma Chamber of Commerce. His capable administration of the office led to bigger offers, and abandoning his church work he served in an executive capacity with the California State Board of Trade and various other development associations.

ACCEPTS S. F. POST

In 1912, he accepted the position of vice president and general manager of the San Francisco Chamber of Commerce—a position which he still holds.

Lynch is a student of international affairs and has visited practically every country on the globe. For his work in immigration affairs in Italy, he was knighted by the King of Italy. He is also an expert on Oriental affairs.

Lynch is well qualified through his many years of experienc to direct the work of the local chamber of commerce. He is considered an expert in chamber administration and the remarkable record of the local chamber is directly attributable to the leadership of Lynch.

HAS HOBBIES

Lynch's favorite hobbies are bridge and golf. He admits that he is no expert at the royal and ancient pastime. He also takes keen delight in studying international affairs. Lynch is married and lives at 3590 Clay street. His daughter, Elizabeth, 20, is a student at Stanford; Maria Ann, 17, graduates from Girls' High School this year, and Robert, Jr., 6, has just embarked on his educational career.

YOUTH ELECTED TO GUIDE SAN MATEO SOCIETY

SAN MATEO, Jan. 31—(Special)—Hideo Kariya, popular athlete of the Peninsula, was elected president of the San Mateo Japanese Student Club following a welcome party given in honor of new members, Sunday, at the home of the Misses Masako and Tsuya Takahashi, members of the Club.

The meeting was conducted by Takahashi, outgoing president of the organization, who spoke in behalf of the club and welcomed the Misses Shizuko Yamguchi, Hatsuko Fujiwara, and Mr. Masuo Nosaka, recent graduates of the San Mateo Grammar School.

The election of the officers was held after everyone was accorded his "second helping" of the refreshments.

The new officers chosen are; President, Hideo Kariya; vice president, Shogo Takahashi; secretary, Miss Grace Takahashi, treasurer, Kay Yama; auditor, Saburo Kariya; athletic manager, George Yama.

Michio Ito Dancers To Invade Seattle For Exhibition Performance Following Successful Appearance Here Friday Night

SEATTLE, Jan. 31—The artistic public of this city will be given an opportunity to enjoy a rare treat on February 6 in the Meany Hall on the University campus where the Michio Ito dancers appear for a performance, under the auspices of the Women's Federation.

The dancers have been given a great ovation in San Francisco where they gave a stunning performance Tuesday evening. The troupe consists of five dancers besides Michio Ito.

Hazel Wright has constantly studied under Michio Ito and was featured by him in his Pin Wheel Review in New York City.

RETURN FROM TOUR

Josephine Karrol and Dorothy Wagner have just returned from a successful Spanish tour and will present typically Spanish numbers on the program, Miss Wagner has been the solo dancer with the Metropolitan Opera Company.

Kohana, born in Russia starred as the dancing girl in Hammerstein's "Golden Dawn" production in New York recently.

Isa, Ellana, Hungarian, has appeared with the San Carlo and Manhatten Opera Companies.

ACCOMPANISTS NAMED

The dancrs will be accompanied by Raymond Sachse and Edward Shapiro, well known concert artists.

Season tickets may be exchanged January 30-31 at Sherman and Clay's or the University Bookstore. Box office sale opens February 1 and Closes February 6. Tickets range in price from $1.00 to $2.00.

DINUBA CLUB HOLDS MEET

Will Send Representative to Fresno's YMBA Confab

DINUBA, Jan. 31—(Special)—The Bussei Club, composed by the young men of Dinuba, Kingsburg, Reedley, and Visalia, held its first quarterly meting of the year at Visalia on January 27.

The meeting was called to order by Harvey Iwata of Dinuba, temporary chairman, and various matters were discussed, and decided upon.

Among them were the proposals to help Hanford, to send one of the club members to the A. L. L. meeting in Fresno as an observer, and to send as many delegates as possible to the North American Y. M. B. A. convention to be held in Fresno, the latter part of March.

Very interesting and instructive talks were given by Rev. Kyogoku of Fresno, Rev. Tsumura of Hanford, and Messrs. Oda and Miura of Dinuba.

After the meeting adjourned, a "China-meshi" party was enjoyed by all present.

Local Buddhist Girls Cage Team Lineup Is Given

The San Francisco Buddhist girls, who will mee the Oakland Sons and Daughters in the opening game of the Bay Region Girl's Basketball League Sunday afternoon at French Court, will try several new players in different positions, it was made known yesterday by Miss Lessie Suyenaga, manager of the fair sextette.

The announcement is arousing great interest among the local fans. According to a confidential report from those who know the inside "dope" of the Buddhist team, the Oakland Sons and Daughters will be disappointed if they believe they can walk away from the Y. W. B. A. six.

The San Francisco hoopsters engaged in a real practice Wednesday night in which they displayed beautiful team work combined with some clever short passings and accurate shots.

The players are; Madokoro Matoi, Eleanor Kanzaki, Kimi Matsumura, Lessie Suyenaga, Teru Yoshimoto (captain) forwards; Itoko Tsukada, center tap; Shizu Matsumura, center guard; Suyeko Nakano, Misao Hashimoto, Yoshi Itatani, guards.

Buddhist Rites Unite Penryn's Popular Couple

PENRYN, Jan. 31—(Special)—Romance entered into a life of an athlete. Mr. Kiyoto Masuda, who has for two years been the president of the Placer Y. M. A., was united to Miss Haruko Hashioka Saturday at the local Buddhist Church with Rev. Ishiguro officiating.

Following the ceremony, a reception was held at the home of the groom. It was attended by 150 friends of the couple, including several influential Americans of the district.

Sixty young friends of Mr. Masuda were invited Sunday to an informal party. The newlyweds have left for Los Angeles for their honeymoon.

FRESNO E. L. PLANS HIKE

Members To Take Part In Big Snow Outing On February 9

FRESNO, Jan. 31—(Special)—Thomas Furuya, active member of the M. E. Church and the superintendent of the Sunday School, was chosen president of the Fresno Epworth League at a business meeting held on Sunday, January 27. George Domoto, Miss Shigeko Matsuyama, and Masaji Goto were re-elected vice president, secretary, and treasurer, respectively.

Plans were made for the snow hike which will be held on Saturday February 9, and Miss Misao Matsuyama was chosen to take care of general arrangements, especially the "eats".

The members of the league are rehearsing for the radio devotional service to be given by the M. E. Church.

PENRYN CAGERS TO PLAY S. F. "Y"

FIVE GAMES SCHEDULED BY MOUNTAIN ATHLETES

PENRYN, Jan. 31—(Special)—The Placer Y. M. A. casaba hustlers, undisputed champs of the North, will tackle the Strong San Francisco Y. M. C. A. huskies on February 9 in the P. U. H. S. gym, it was announced by the Placer manager.

This game, which is expected to be the biggest clash in the scedule of the remaining season, had been carded for February 2, but was postponed one week.

Placer's complete scedule follows:
February 2—Florin Y. M. B. A. vs. Placer at Placer U. H. S. gym.
February 9—San Francisco Y. M. C. A. vs. Placer at P. U. H. S. gym.
February 16—Auburn vs. Placer at Placer U. H. S. gym (tentative).
February 23—S. F. Showa A. C. vs. Placer at Placer U. H. S. gym.
February 24—Stockton Tournament at Stockton.

Tickets to the game on the 9th are now on sale by the members of the Placer Y. M. A. Large crowds are expected as the tickets are selling fast. There will be no admission charge to the game on the 2nd.

YOUTHS ISSUE NEW MONTHLY IN PORTLAND

PORTLAND—Carrying the poetic name of "Keisetsu" the Japanese word meaning "Fireflies and snow," the initial number of the publication to be issued monthly during the school year by Japanese students at Portland, Oregon, has appeared.

With Kaname Takeuchi as editor and Tom Iriye as business manager, the eight-page publication has numerous departments over which the following are in charge:

Athletics and Jokes ..... George Ochikubo
Exchanges ..... Norishi Okada
Features ..... Moto Kobayashi
Club News ..... Tsugio Sumida
Library ..... George Sugahiro
Contributions ..... Henry Inouye
Editorials ..... Masaka Niguma
Juniors ..... Toshio Shimizu
George Minoda, Fumie Marumoto.

SCHOLARSHIP PLANS HELD FOR FRESNO

School Body To Start Campaign To Assist Japan Students

FRESNO Jan. 31 — (Special) — Special Scholarships for girls will be recomended at the next general meeting of the Central California Japanese Language School League, it was made known this week following the board meeting held on Sunday.

Candidates for the awards will be nominated by a committee, which will recommend girls, by judging their standing on the basis of character and scholastic records.

LOAN AND ALLOWANCE

The present scholarship plans call for a monthly allowance of sum not exceeding ten dollars, to be made to the qualifying college students. Another feature of the plan is the student loan. These loans will be allowed without interest and will be returnable in ten years following graduation.

The plan also provides special honorary awards to high school students at their commencement, upon the nomination of the board.

These scholarship funds will be raised by contributions from language schools, and by general subscription from the public at large in a campaign to be instituted in the fall of this year.

YOSHINO WILL HEAD TURLOCK SOCIAL CLUB

TURLOCK, Jan. 31—(Special)—James Yoshino was elected president of the Turlock Social Club at its annual meeting held Saturday.

The other officers elected are: vice president, Robert Yoshino; secretary treasurer, Miss Mary Noda; athletic manager, George Furukawa; assistant athletic manager, Jack Noda; athletic coach, William Noda; social chairman, Mis Kimie Ariyasu.

Miss Kawakami Is Welcomed By S. J. Girls Club

SAN JOSE, Jan. 31—(Speical)—Miss Clara Kawakami, a new member, was warmly welcomed at the monthly meeting of the San Jose Girls' Club held in the Japanese Association assembly recently. After a very exciting business discussion, the meeting adjourned.

The girls have turned out for volley ball practice, under the able management of Miss Alice Uyemura, athletic manager. The girls will soon boast of a very promising team if they keep up their good work.

CLUB HOLDS FROSH BALL

Student Reception Is Featured By Semi-Annual Dance

BERKELEY, Jan. 31—(Special)—one of the most successful reception dances of the season was given by the Japanese Student Club of the University of California Saturday night in honor of Japanese Freshmen and students who had been transfered from other schools.

President Norman Kobayashi, presided. The welcome was extended by Kozo Idehara, while Taizo Inazu spoke on "The California Spirit". The main speaker of the evening was K. Nakabayashi, '21, well known business man in San Francisco, and president of the U. C. Japanese Alumni Association. Tsuneichiro Baba responded in behalf of the incoming students.

The six Japanese Students registered at U. C. this semester are:

Tsuneichiro Baba, Ringe Shima, George Ochikubo, and Hisashi Makino freshmen; Miss May Akiko Taketa, Junior; and Issei Misumi, graduate student.

JAPANESE POET DEPLORES RAVAGES OF WESTERNISM

Disappearance of Tranquil and Picturesque Suburban and Country Life Laid To Invasion of Machine Age

By YONE NOGUCHI

It is only in a civilized country, I believe, that the beauty of a suburban life, not far from a city but quite near Heaven, is well preserved. No one would deny me if I say that from that point only Japan should be called a barbarous country. The definition of barbarian is various; but my definition of it is more spiritual than physical.

When Japan of the present day plays a barbarian's tyranny that destroys the things beautiful, my mind dwells not on their physical loss but on the spiritual future of Japanese life in general. I should say the present Japanese would hardly understand such a word that the ideal of an Englishman in life is to live in a country.

Even supposing that the village life is not respected in England to that point today, I believe that the country like Japan whose dirty tomhawk defies the integrity of a suburban beauty in cold blood, is certainly a barbarous country who disgraces the old name of a land of beauty.

BANEFUL INFLUENCE

What I am going to write here from my own experience is one of a hundred cases in which the so-called modernism of Japan is exerting a baneful influence on our Japanese life; my experience relates to Nakano, a suburban village not far from Tokyo, which was beautiful and quiet ten years ago, but now a human garbage where people in surplus whom Tokyo sweeps away find their little homes.

I wonder how many human garbages stand now surrounding the city of Tokyo.

Tokyo is quite a huge octopus whose avaricious greedy fingers are stretched into those garbages, and calls itself one of the greatest cities in the world.

When I moved here from Tokyo more than ten years ago, Nakano had a scenic beauty with a carpet of wheat and barley responding in golden rhythm up to the bluest sky in summer, and in autumn, with such a hill of red pulpy persimmons that would surely please a screen-artist like Korin or Hoitsu.

ONCE A PARADISE

As an autumn poet, I myself loved the sight of these persimmons, in which the passionate love of the sun was symbolized; oh, what a decorative beauty which nature alone knows to paint, was in it! It selected a patch where the persimmons were particularly rich; and when my little house in Japanese style, with all the glass windows facing them, was built, I thought in joy that the stage-setting for my suburban life was somewhat complete.

How pleased I was then to take a little walk about and look at the cottages of my neighbouring farmers over a hedge or through a bamboo thicket!

I was so glad that the farmers, honest lovers of the seeds among the ridges, were hard-working and true, and revealed a silent history of simple lives between their clumsy fingers; I looked at their tough skin in reverence, that or many long years touched with manure.

"NARIKIN" LIVING

But how are they today? Why, no longer are they farmers since the price of land rose high suddenly on account of the unexpected invasion of Tokyo, and every inch of it began to fetch an astonishing price; they are now gentlemen even in western clothes, smoking cigarettes of foreign brand, who attend a town assembly and talk on politics.

Oh, what a change! Are they happy? They did not know how the matter will be when they awake from the dream which promised them everything at the beginning; they soon began to complain that their families demanded better food and clothing since the modernism of Tokyo taught them how to live in style. They had to send their boys to schools in Tokyo, and dress their daughters in satin or silk, adopting a rule drafted by the mischievous times.

TOO LATE

It was too late for them to realize that this modernism was something extraordinarily expensive, and again to dream the dear old day when a garden-radish or sweet-potato tasted better than butter or beefsteak on the present dinner tables; there is, indeed, nothing more terrible than luxurious life which upsets one's mind and robs away his original sense.

The saddest thing was that a sudden wealth made some farmers, doubtless an unlettered upstart, lose his head and snobby, and made him the tool of a speculator or schemer. He was obliged to run away from his birth place when he lost everything bequeathed by his forefathers.

(To be continued)

JAPANESE IS ELECTED TO CITY OFFICE

Tsukiyama Appointed Honolulu's City Attorney

HONOLULU, T. H.—Wilfred C. Tsukiyama, a prominent second generation lawyer of this city, was appointed deputy city and county attorney and tok his oath of office on January 10. He has the distinction of being the first American citizen of Japanese ancestry to be appointed to the legal staff of any American city.

Tsukiyama is one of the leaders of the young people of this city. He is at present the president of the Hawaiian-Japanese Civic Association.

The young deputy is a graduate of Coe College and the University of Chicago law school. He has been practising in this city since 1924.

Hoon-wo Wong, an American citizen of Chinese extraction was also made a deputy at the same time. He is a graduate of Northwestern University.

14 STUDENTS TOUR BRAZIL

Japan Kengaku Party Given Welcome In South America

TOKYO,—"Brazilian people all seem to be extremely friendly toward Japan and the Japanese people."

This is the impression brought home by a party of 14 students of Keio University, who spent last summer to tour the state of San Paulo, Brazil, and returned to Yokohama during latter part of the year.

The tour was held under the auspices of the Industrial Research Society of Keio University. The party made the tour under the leadership of Ippei Kato, formerly superintendent of Keio University.

Kato spoke very enthusiastically of the tour. They were given warm receptions at every place they visited, he said, and a number of social functions were tendered them by Brazilian officials.

Speaking of the Japanese children and young people in Brazil, Kato said, "There is a tendency for those born in Brazil to become persons of an easy-going and light-hearted nature because life is so easy in Brazil. Of course, those who are born in Brazil forget their mother country and have no desire to see the land of their parents, but I think it would be desirable to have them visit Japan once in a while."

CHILE EXTENDS INVITATION TO JAPAN SAVANTS

TOKYO—An agreement has been reached between the Japanese Foreign Office and the Chilian Minister in Tokyo, for the employment of a veteran Japanese seismologist by the Chilian Government which is now planning to establish a seismological observatory in Chile. The Chilian Minister is expected to call on Dr. Suyehiro, Chief of the Seismological Laboratory of the Tokyo Imperial University for the arrangement of a definite invitation of the Japanese expert.

S. F. YOUTH TO TALK BEFORE ALAMEDA BODY

ALAMEDA Jan. 31—(Special)—Shigeru Saito, superintendent of San Francisco Reformed Church Sunday School and chairman of Bay Sectional Christian Conference, will talk before the members of the local Junior Epworth League. Sunday night, Feb. 3, in the new auditorium of the M. E. Church, South. The program will start at 7:30 p. m.

John Fujii, president of the organization, will preside over the meeting.

HOMESICK

"Shut that door! Where were you brought up—in a barn?"

The man addressed complied meekly and silently. The first speaker observed that he was in tears, and going over to the man he apologized.

"Oh, come," he said, soothingly, "you shouldn't take it to heart because I asked if you were raised in a barn."

"That's it, that's it," sobbed the other man. "I was brought up in a barn, and it makes me homesick every time I hear an ass bray."

Mourns Loss

Princess Teru, three-year-old daughter of the Emperor and Empress, who paid a call to the home of her late grandfather Prince Kuni yesterday to express her condolence.

EAST BAY TO HOLD DANCE

Hoshi-no-Hana Club Is Sponsorer Of Ball Tonight

BERKELEY, Jan. 31—(Special)—One of the biggest social events of the year among the younger generation of the Bay Region will be held tonight (Friday) at the Berkeley Hall when the Hoshi-no-Hana Girls Club gives a mid-winter dance. The affair will start at 7:30 o'clock.

The hall has been beautifully decorated by a committe headed by Miss Miyeko Kasai. Refreshments are being prepared by Miss Sakaye Fujii, president of the organization.

A larger crowd by far than in previous years is expected to participate in this ball.

Invitations were sent out by Miss Eiko Kondo to a large number of young people of the Bay district, and answers accepting the invitations are pouring in, asuring the success of the event beforehand.

The frolic will be held in Berkeley Hall at 2117 Hast Strete, in Berkeley.

OUR JUNIOR SECTION

BIRTHDAYS

January 31—Harry Ida, Eastlake, Colorado, 12; Bernice Hikiji, Sacramento, 14; Chie Kawai, San Pablo, 11; Mamoru Hada, Hidalgo, Texas, 14.

—Junior—

February 1—Susie Sanbo, Rio Linda, 14; Noburo Kanada, San Francisco, 9; Noboru Kanezawa, San Francisco, 9; Helen K. Tanaka, San Luis Obispo, 13.

—Junior—

NEW MEMBERS

George Omi, care of Hunt Bros. Pkg., Co., Linden, California, age 10, birthday, April 5.

—Junior—

Miye Molly Nakamoto, 734 East Main Street, Santa Maria, California, age 12, birthday October 10.

—Junior—

Miye says she is voting for the Peacock. She also says she worte to Chiyo E. Nonaka and Hisako Nonaka. We hope you will write to us again, Miye, and don't forget to send us some nice jokes and riddles.

George Omi sends us these clever jokes:

Elevator boy: "Goodbye, son."
Passenger: "Me your son?"
Elevator boy: "Sure, I brought ouy up, didn't I?"

—Junior—

Professor: (enter class): Order please.
Absent minded student: Two eggs done easy and a cup of coffee.

—Junior—

George Nagatani of Ducor, Colorado, sends us this little rhyme:

There was an old man of Dutton,
Whose head was small as a button,
So to make it look big,
He purchased a wig,
And rapidly rushed about Duton.

—Junior—

Florence Tsuneishi of Monrovia says she received a nice handkerchief from Kazuko Yamamoto and wants to thank her very much. Florence is voting for the peacock too, because it is the most beautiful of birds.

—Junior—

Here is her joke:

The first artist draws a horse but not the cart.

Second Artist: "Why don't you draw the cart?"

First Artist: The horse is supdposed to draw the cart.

—Junior—

Arthur Tsuneishi, who lives at R. F. D. Box 474, Monrovia, California, wants our Juniors to write to him.

—Junior—

Here is Arthur's riddle:

If you drop a stone in a pail of water what should it become? Ans. Wet.

RULER PAYS RESPECT TO LATE PRINCE

Pays Call on Family To Express His Condolence

TOKYO, Jan. 31 — (Special) — Their Imperial Majesties the Emperor and Empress paid a personal visit to the home of the late Prince Kunihiko Kuni to express their condolence to the family of the deceased at 10:30 o'clock this morning. They left the Kuni residence in Shibuya for the Imperial palace at two o'clock in the afternoon.

At 3 o'clock Princess Teru, three-year-old daughter of the Imperial couple, also paid a call to the home of her late grandfather.

The late General Kuni, father of the present Empress, was a member of the Superior Council of the Imperial Japanese Army. His funeral will take place on February 3 in Tokyo, and the body will be buried in the famous cemetery of Toshimagaoka, where many distinguished Japanese statesmen, including Marquis Okuma, are buried.

CHOSEN'S AIR PLANS FORMED

EXTENSIVE DEVELOPMENTS OF AVIATION CONTEMPLATED

KEIJO, Jan. 28—After four years' preparatory period, aviation in this peninsula enters a new phase of practical activity with the inauguration of the Osaka-Dairen passenger and mail service by the Japan Aerial Transportation Company beginning in April, next year.

The local authorities have established eight aviation land marks at Urusan, Kojun, Ten-an, Shariin, Heiji, Teishu, and Shingishu, and in addition, two aviation grounds were opened at Joito and Urussan during this year.

AIR BASE AT JOITO

Meantime, the Finance Bureau of the Chosen Government-General is ready to open the air customs office at the Joito aviation grounds, beginning in April, next year. All the belongings of the air passengers are going to be examined at the Joito aviation ground, in the same way as they do it at Antung and the Shingishu railway stations.

With the object of preventing the "importation" of epidemics from Manchuria, the police authorities of the Chosen Government-General will open air sanitation office at the Joito aviation ground.

WIRELESS SERVICE

As for the air wireless service, a receiving station will be established at the Joito aviation ground and it will be connected by wire with the Keijo Wireless station. On the other hand, a powerful wireles station is going to be built at the Urusan aviation ground with the investment of ¥100,000 in the near future.

I naddition, an air meteorological observatory will be established on the summit of Shuhurel, and it will be open some time during 1930.

SUBSIDY TO CIVIL AIRMEN

Civil aviation in this peninsula has hitherto showed hardly any activity, due mainly to that fact that the Government had not encouraged it. It is proposed, however, that the Government will promulgate regulations for granting subsidies for the repair of civil airplanes, and condolence to victims of air disasters. Furthermore, M. Shin Yo-in, a Chosenese aviator is going to open a training school, while plans are under way for discovering schools of fish investigations of forestry regions at the national boundary district, railway survey etc. It is now expected, therefore, that civil aviation will manifest remarkable activity, hand in hand with the Japan Aerial Transportation Company's international air service.

Miss Arnold Will Speak To Alameda Epworth Members

ALAMEDA, Jan. 31—(Special)—Miss Grace Arnold will speak at the devotional services, to be sponsored jointly by Oakland High League and Alameda Senior Epworth League, Friday night, Feb. 1, in the new auditorium of the local M. E. church, South. The program will start promptly at 7:30 p. m.

James Hanamura will act in the capacity of chairman.

WHAT IS SO RARE—

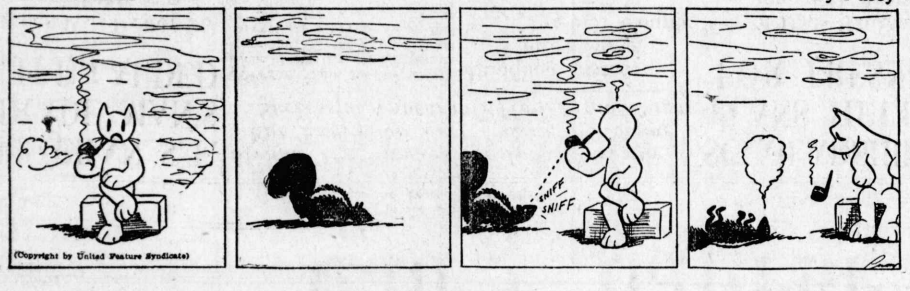
An American producer was discussing with a woman the difficulty of filling a particular part in a forthcoming play.

"I want," he said, "a young man who looks like Lindbergh, is tall, blue-eyed, and has sex appeal, a sense of humor, and an air of distinction."

"So do I," she sighed.

CAT TALES

By Pusey



(Copyright by United Feature Syndicate)